

お取引様 各位 お客様アンケートご報告

拝啓 貴社ますますご盛栄のこととお喜び申し上げます。
毎々格別のお引き立てを賜り、ありがとうございます。

さて、この度はご多忙の中、弊社業務に関するアンケート調査にご協力いただきまして、誠にありがとうございます。

9月分アンケート調査の結果について集計致しましたので、
いただきましたご意見の一部をご紹介致します。

ご意見①

「外から入ってくる虫に対しての
対策があると嬉しいのですが・・・。」

建物は通気性等の為に完全に密閉された造りになっておらず、
外部から侵入する虫を完全に防ぐのは難しいところです。
しかし、弊社ではムカデやアリの侵入対策として建物外周に
処置する粉剤、飛来虫の侵入にはムシポン(捕虫器)、防虫
カーテンなどを取り揃えております。
ご相談に応じさせて頂くことができますので
よろしくお願い致します。

ご意見②

「店内清掃をした際に施工してもらったコーリング
剤が取れる事があるのですが・・・。」

申し訳ありません。弊社のコーリング剤はゴキブリの習性に基づいて様々な箇所に細かく施工しております。
その際に施工した箇所の材質や塗布具合によって、取れてしまう事も稀にあります。
弊社としても、今後より取れにくい様にコーリング剤の質、
施工技術の向上に努めてまいります。また、多少取れてしまう事も配慮して、細かく補える様に施工しておりますので、
ご安心ください。

ご意見③

「定期的な駆除が必要かと思うのですが・・・。」

こちらは新規施工に入りまして一ヶ月点検(効果測定)前の
お客様よりご意見いただきました。

弊社のメインに使用しているFCCコーリング剤は、一年間の
効力があります。噴霧や散布に使用する薬剤は効果が継続
しない為、什器奥に潜むゴキブリまではなかなか一度の作業
では根絶が難しいです。

しかし、FCCコーリング剤はその長い効力により、施工後も
長くゴキブリ駆除効果があります。さらに、弊社の施工員は
ゴキブリの潜みやすい箇所や通り道を熟知しておりますので、
店内の適切な箇所に細かく施工します。

今回ご意見いただいたお客様にも弊社の駆除方法を改めて、
ご説明させていただきご理解いただきました。

もちろん、その他ご不安な点がありましたら、年間保守契約で
ございますので、お気軽にお申し付け下さいませ。

一部でございますが以上の様なご意見・ご指摘をいただきました。
いただいたご意見・ご指摘は全て真摯に受け止め
改善してまいります。

どうぞこれからも、忌憚のないご指導・ご鞭撻を賜ります様、
よろしくお願い申し上げます。

また引き続き、皆様からいただいたご意見等をご紹介しま
いりますので、重ねてよろしくお願い致します。

敬具

昨年2月よりアンケート調査を毎月行っております。
引き続きご協力いただければと存じております。

アンケート専用FAXのフリーダイヤルを設置して
おりますので、こちらもご利用くださいませ。

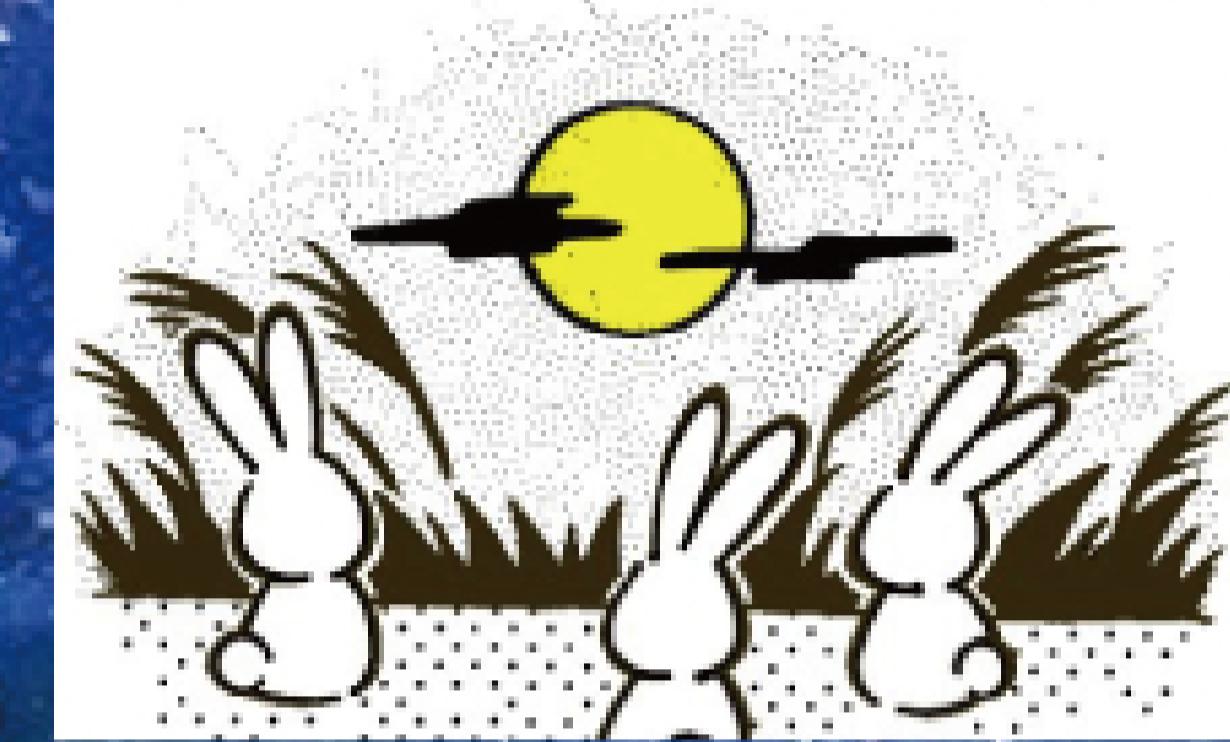
お客様アンケート
お問い合わせ専門FAXフリーダイヤル

見ないムシ
0120-32-3164

※一部八県以外はご利用出来ません。
(東京・神奈川・千葉・埼玉・栃木・茨城・群馬・山梨・静岡)

FCC News

2014年10月号 No.0126



Index

お客様アンケートご報告

社長コラム & 社員コラム

季節のムシ暦(82)

生活の豆知識

FCC商品紹介

株式会社 FCC



〒251-0043

神奈川県藤沢市辻堂元町4-3-32

Tel 0466-31-3164

Fax 0466-31-3174

URL <http://www.fccsystem.co.jp>

E-mail info@fccsystem.co.jp

社長コラム

湘南ではたらく小さな会社の社長のblogより

仕事のプライド

会社をほんの少しずつ伸ばしてはいますが、本心で規模や売上高なんかで勝負はしたくないです。

あと個人的にも大それた野心はあるでないです。
日本人のプライドは足るを知る。
そして分をわきまえる。

やはり私は職人的かもしれません。
株式会社FCCでは、何に負けても技術力では絶対に他社に負けたくないです。他でダメで困っているお客様のお役に立つ。

フカサワワークショップでは、規模なんかは個人経営でも、縁あって私と契約して頂いたお客様に心から喜んで頂くことが、私の仕事の喜びでありプライドでした。

これをこれからも継承したいです。
経営指針書には毎年それが書いてあります。

株式会社るるカンパニーでは、スタッフ(利用者)の幸せを心から追求します。どこの事業所よりも仲良く楽しく働き、自立できる会社を築きます。

だから他が仮にそうであっても弊社は弊社を貢きます。全スタッフの健康診断は当たり前。
8時間働けるスタッフは、社会保険に加入します。

FCC社員コラム

タクゾーブログ

家族

土曜日から、父母弟が住まいに遊びに来ておりました。

土曜日は、鎌倉、江ノ島を満喫し
日曜日は、朝から海に行っておりました。

湘南を全て知り尽くしているかのような案内振りで生意気に地元感をブンブンに出していました。笑

私は、早くから実家を出ました。
最近は、弟も仕事の関係上、都内で一人暮らしを始めたので全員集まる機会も以前に比べれば減りました。

ただ、やはり家族が集まると気持ちが和みますし、また頑張ろう!という気持ちが高まります。

私は、自分で言うのも変ですが
とても世話の焼ける子供だったと思います。

迷惑ばかりかけていたのを思い出します。

親元を離れ、自分の力で生活し自立していく事が本当の親孝行だと思いますので、
これからも今までの恩を返せるよう頑張っていきたいと思います。

また、明日から気持ちを引き締め
業務に励んでいきたいと思います!!

機を見て母体のFCCで一般就労に切り替えます。
ただし、支援員のサポートの元で働くのが幸せな方も居ます。

4時間勤務→6時間までの勤務→8時間勤務→一般就労、そして自立生活支援の為グループホーム経営。

4時間勤務が一番合っている方はそれでいいし、無理する必要もない。

6時間までの勤務が出来るようになったらなったでその様にしますから。

4時間勤務でも最低賃金(868円)と障害者年金で、一人でもグループホームだったら充分自立できます。

個別支援に力を入れてやっていきます!

パソコンからFCCブログをチェック!!

FCCニュースに掲載しているブログ記事以外にもFCCホームページには多くのブログがあり、業務の事や日常の出来事など様々なエントリーが投稿されています。

気になった方は

ゴキブリ駆除 FCC

検索

トップページから全てのブログにアクセスする事が出来ます。

忘れかけていた身近な悪ムシ

庭の木に、蝉（セミ）の抜け殻が静かに残っている。つい先頃までは、暑さに茹だりながら活気に満ちた鳴き声を聞いたが、いつの間にか耳にしなくなった。

それに、残暑を心配していたが、それすら感じないうちに涼しさが一段と増した。これも地球温暖化がもたらす異常気象なのだろうか。

諺に「福いは忘れた頃にやって来る」とある。先日に起こった広島市の土砂災害は、目を覆うものがあるが、多くの学ぶべきものを残した。

その歴史をたどると、此処は“土砂崩れ”とは無縁の地では無いという。どうも災害には周期があるように思われる。

このような天災とは異なるが、私達が忘がちなのは、生物による禍である。中でも「虫」はとくに厄介なものである。

人は、先に話した蝉のような、姿や形で存在感のある虫には気付くが、小さかつたり、控えめな虫などは忘がちである。

過日、涼しくなったので、庭木の下草取りを始めたところ、僅かな間に微かな弱音を立てて小さな虫が顔や手に集まってきた。

まさかこんな小さな庭で、ヤブ蚊に襲われるなど思いもしなかった。これは都市化に慣れて自然を忘れた油断である。

今まさか、というような蚊に纏わるウィルス性の病気が話題となっている。

これは「デング熱」という発熱性の病気で、熱帯や亜熱帯の全域に常在する。日本に最も近い国は台湾までである。

国内では約70年前に流行を見たが、その後今まで国内発生の事例はなかった。

しかし、これが今年の8月以降に国内感染が発生した。また、これが感染したと思われる場所が、東京都の代々木公園であったので、話題性を高めた。

今の所、感染者数は151名を越した程度だが、その多くの人が代々木公園を訪れていたという。

また、代々木公園で採集された蚊からウィルスが検出された。したがって此処が汚染地であることが明らかになった。

問題なのは、「デング熱」は人から人への感染もなく、重症化する可能性は低いというもの、これを診断が出来ない医療従事者の多いことである。

また、この代々木公園のイベント広場は、国際化が進んでおり、ことに東南アジア諸国との交流が盛んである。

しかし、このような場の衛生管理は、認識が低く、十分なものとは言えない。

わが国の生活環境は、都市化の進展に伴い一般と整備が進み、人を加害する害虫類は激減した。だが、昭和初期の日本の夏はハエや蚊が多く、それを退治する道具が日用雑貨商品になっていた。例えば「ハエ取り瓶（ピン）」などがそれである。

また、蚊に対しては、夜間の寝る時には「蚊帳（かや）」が、欠かせぬ必需品であったのだ。何時の間にか「蚊帳」は姿を消し、それと共に「蚊」の怖さが忘れられてしまった。

今話題の「ヒトスジシマカ」は、ヤブカ（藪蚊）と稱されていて、よく知られた悪ムシである。この蚊は、東南アジアが原産らしく、人の交流が盛んになり分布範囲を広げたようだ。

この蚊は昼間に活動し、人を好んで吸血するので厄介である。なお、吸血活動が最も盛んなのは、午後4時頃から6時頃という。

発生源は墓地の花崗、竹の切株、空缶などの小密巣、古タイヤ、落葉などで出来た小さな水溜り、雨水マス、防火用水槽などの人工小水系である。

怖い蚊はまだまだいるが、最も普通のがアカイエカである。これは夜間吸血性で、これが「蚊帳」を必要とさせた主人公である。もう忘れた人が多いが、「フィラリア」という病気の中間宿主である。

もう一つ忘れてはいけない蚊がいる。それはコガタアカイエカと称する蚊で、成虫は畠間水田や雑草の茂みで過ごし、日没とともに吸血活動を起こす。

この蚊の活動力は大きく、一晩中飛び続けて、遠隔地へ移動する。怖いのは日本脳炎ウイルスの媒介蚊で、1960年代、今から約50年前に「日本脳炎」が大流行した。

日本脳炎は致死率が高く、流行時にはかなりの死者があった。福いは忘れた頃にやって来るというが、都市化に慣れて、人は「蚊」の怖さを忘れてしまった。

日本では他国のことと思いがちだが、「マラリア」という熱帯病があって、これは蚊が媒介する病気である。

まだ世界では年間に5億人が罹患し、100～300万人が死亡している。たかが「蚊」といえない怖さである。

今でこそ日本ではマラリアが無くなったが、昔は日本でも猛威を振るった歴史がある。

生活の場の「ムシ」、忘れられた「病」など、見直しの時期に来ているようだ。

【写真説明】

一夏の週末を告げるセミの抜け殻だが、これには物語があったのだ。
その物語を読み取るのが人間の智か！



生活の豆知識

カメムシ

かつてのカメムシは山地や田舎に多く見られ、栽培植物につくものがあり、重要な農業上の害虫が多かったようですが、最近は平地や都会にも普通に見られるようになってきていて、不快害虫としての被害が増大しています。

カメムシ類は、セミなどと同じ半翅目（はんしもく）に属する昆虫の総称で、日本ではおよそ800種が知られています。その多くは、危険を感じることにより悪臭のする分泌物を排出します。

カメムシの寿命は成虫で約1年、季節ごとにエサを求めて移動するものが多いです。夏はカメムシの活動期であり、交尾・出産期でもあります。卵は、幼虫のエサとなる植物の近くに産み付けます。

越冬した成虫は夏に子孫を残し、一生を終えます。秋のカメムシは新しい世代のカメムシだけが残り、食料を追い求め、早々と越冬準備にかかります。その際、カメムシは建物の隙間を見つけて侵入してきます。

カメムシが臭いを出すときは3つあるとされていて、外敵に対しては毒物および忌避物質として作用（防衛）、仲間に對しては、警報フェロモンとして逃避行動を引き起こすように作用します（警報）。

また緩やかに少量放出された場合には、集合フェロモンとして作用し集合を促す機能もあるようです（集合）。警報で一旦バラバラになったカメムシが、これによって違う場所に再び集まることが出来るのです。

カメムシ類は種類が多い上、発生植物がカメムシの種類によって異なるので、特定するのは困難です。発生場所が分かっても、その草や樹木を刈り取ってしまうなどしなければ発生を繰り返すので、根本的な解決（飛来をゼロにする）のは難しい害虫です。

そのため、対策・駆除方法は屋内へカメムシを入れないようにする「侵入防止対策」が最も有効な方法となります。カメムシは建物の隙間を見つけて侵入してきます。屋内に侵入する前、壁や窓などに止まります。

特に、日当たりの良い壁面に止まっていることが多いです。そのため、あらかじめ壁面などに殺虫剤を処理しておいて、処理面にとまったカメムシを駆除し、屋内へ侵入するのを防止します。

その上で、侵入口となりうる換気扇口や給排気口、建物の隙間等にも粉剤を仕掛けていきます。殺虫剤の有効期限を把握して、繰り返し行うことが重要です。それでも全ての隙間をカバーする事は不可能ですので、侵入されてしまう可能性もあります。

屋内に侵入したカメムシは、低温時は物陰に潜んでいますが、室温が上がってくると天井や壁を徘徊したり、照明の周りを飛び交ったりします。カメムシは開けた空間を好んで飛び、白色や黄色など光をよく反射する物体に誘引され飛来するのです。

もしも侵入を許してしまった場合は、危険を察すると思臭を放つ為、刺激しないようにそっと外へ逃がすと良いでしょう。また、即効性に優れた殺虫剤を直接噴射して駆除するのも有效です。

カメムシの臭い物質はトランス2ヘキサノールといい、親油性のため油に溶けます。もしも手に臭いがついてしまった場合、オリーブオイルなどの食用油をまんべんなく塗り、よく馳染ませた後、石鹼などで洗浄します。これで悪臭から解放されます。

この悪臭、カメムシにとってもきついようです。狭い容器にカメムシをいっぱい入れておくと、なんと、お互いの臭いで氣絶してしまいます。どれか一匹が臭いを出すると、その臭いを嗅いだ別のカメムシが、先に述べた習性の一つ（警報）から臭いを出します。

その臭いを嗅いだ別のカメムシが臭いを嗅いで…と連鎖的になってしまい、全員失神してしまうようです。死亡してしまうこともあるそうで、面白いような恐ろしいような話ですね。

FCC商品紹介

飛来昆虫捕獲器

FCCムシポン ポケット2



1台29,268円（税込）

インテリアタイプの飛来昆虫捕獲器ですので、お客様の目に触れる客席や店内などでご利用頂けます。

虫が好む光で誘引し、専用の捕虫紙でどんな小さな虫でもしっかりと捕獲するので、電撃捕殺タイプの様にパチパチという音がしたり、虫の死骸が飛び散ったりする心配は一切ございません。

専用の捕虫紙、ランプもご用意しております。

FCCオリジナルエコ商品の販売や、衛生に関する店長ブログなどもあります！
気になった方は…

衛生用品.com

検索